

はや公民館だより

平成28年2月号 No. 389

発行：芳養公民館 館長：泉 京子 主事：野口 直希

住所：田辺市芳養松原一丁目15-8

TEL：22-1429 FAX：23-1909



掛け軸を寄付して頂きました

この度、岸彰則さんから芳養公民館に土井汲泉氏作の掛け軸を寄付して頂きました。次回秋の作品展の折、展示させていただきます。ご鑑賞下さい。

和室の座布団を修復して頂きました

芳養婦人会長の西喜代子さんが和室にある座布団を修復して下さいました。



芳養公民館区『成人式』実施



1月10日(日)、「大神社」にて芳養公民館区の成人式を実施いたしました。今年は、34名(男20名・女14名)の新成人の皆様にご出席いただきました。

【新成人代表、神足可奈子さんの謝辞を紹介します】

この大神社で走り回っていた私たちも、成人を迎えることが出来ました。私もそうですが、既に職に従事している人、親元・地元を離れ、学業に励んでいる人。小さな体に、大きなランドセルを背負って、皆一緒に学校に通っていたのに、20歳となった今、皆それぞれの道を歩んでいる。小学生だった8年前は想像していたでしょうか。そんなことを考えると、本当に皆大人になったのだと改めて実感します。今日、ここに34人が、大きく道をそれることなく、健康に顔を合わすことが出来ているのは反抗期だった私たちを、どんなときも一生懸命に育ててくれた、父・母、細かなところまでサポートし、見守ってくれた地域の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。20歳は人生で表すと、「朝の6時半」だと、よく耳にします。だから私たちはまだ、起き立ちのスタート地点なのです。今まで以上にたくさんの人に出会い、今まで以上にたくさんの壁が立ち上がることでしょう。しかし、今まで教わったことを思い出し、人生を歩んでいきます。そして20歳は10代と違い、大人の一員とみなされます。社会人として、法、規則、マナーを守ることはもちろん、常識、人としての良心や、道徳心など、今、一番必要とされていることを身に付けていくべく、心新たにしているところです。本日は、芳養連合町内会及び、芳養婦人会、芳養公民館の皆様方には大変お世話になりました。重ね重ね御礼を申し上げます。まことに簡単ではございますが、新成人を代表しての謝辞とさせていただきます。本日は、本当にありがとうございました。

宮本弘之連合町内会長様からは、「新成人」に向けて熱意あるお励ましのメッセージを頂きました。ありがとうございました。

人権学習会

1月20日(水)、やすらぎ対策課より講師を招聘し、認知症予防研修会を行いました。少人数の参加でしたが、認知症予防に関する研修とその対策の一つとしてのカルタ取りゲームをして、楽しみながら勉強されていました。

防災学習会「広域に学ぶ」

1月23日(土)、防砂学習会「広域に学ぶ」として広川町にある稲むらの火の館、その他を見学してきました。稲むらの火の館では、津波に関する3Dシアターを見たり、防災についての講和を聴きました。参加された方々は熱心に学習し、防災力を高めました。

第22回 ソフトバレーボール大会参加者募集!

【日時】平成28年3月4日(金)男子・女子の部 午後7時から
※参加チームが多数の場合は、男子の部を3月5日(土)に行います。
(練習日：3月1日(火) 午後7時30分から)

【場所】田辺市体育センター(大屋)

【参加資格】芳養公民館区在住の一般男子及び一般女子。(学生不可)

※男子の部に女子出場可。ただし、女子の部に参加している場合は出場不可。

【チーム編成】チーム編成は1チーム4名とする。(2名補欠登録可)

※原則として地区単位で編成。(できない場合は2地区以内で編成)

【参加申込】申込用紙に必要事項を記入の上、芳養公民館までお申し込み下さい。

※申込締切日：3月1日(火)

【その他】①体育館シューズは必ず持参すること。
②施設利用のマナーは必ず守って下さい。



第39回 芳養公民館駅伝大会を実施

1月24日(日)、第39回芳養公民館駅伝大会を芳養児童センター周辺で行いました。

今回の駅伝大会は、去年よりも多い9チームが参加し、雪が降る中にも関わらず、子どもも大人も一生懸命走り、白熱した戦いを見せました。

多くの方々にご参加いただきましたこと、また、沿道で、選手の安全を見守っていただきました交通指導員さんや、地域の皆様にご感謝申し上げます。

なお、大会結果は以下のとおりです。



【第39回 芳養公民館駅伝大会結果(距離14.28km)】

一部 優勝	元町明洋・青葉台	23分39秒	総合 優勝	元町明洋・青葉台	56分23秒
準優勝	芳養明洋	24分25秒	準優勝	松原	60分16秒
第3位	芋	25分06秒	第3位	芳養明洋	60分34秒

演芸大会が開催されました

1月17日(日)、中芳養公民館にて芳養谷地区老人会主催の演芸大会が行われました。約50名の方が参加し、カラオケや舞踊、コーラスを披露するなど大いに盛り上がりました。芳養地区からも大勢の方が参加し、楽しめました。



2月の古紙回収日(毎月第1・3火曜日)

2月2日(火)・16日(火)

◎午前中に、芳養公民館前に出して下さい。

◎雑誌、新聞、ダンボールの3種類に分け、必ず紙ヒモでくくって出して下さい。

※回収日以外は、回収できませんので出さないで下さい。



芳 養 小 学 校

「あなたの一言が、あの子の明日を変える」

(芳養の良さを次に繋げよう)

いよいよ1月8日(金)より、三学期がスタートしました。始業式では、みんな元気に登校し、大きな声で校歌を歌いました。学校として大変うれしいことであります。今年も甲年で、サルのように智恵深く群れをなしながら、学校が一つにまとまり、明るい未来に向けて前進できる素晴らしい年にしたいものです。中国の古い書物には、申年は果実が熟し固まってく状態と記されています。学校が更に充実し一人ひとりが強固な人間に成長してくれることを心より願っています。そして同時に、学校は常に楽しい場であればならないと思っています。私は二学期終業式の式辞の中で、「あなたの一言が、あの子の明日を変える」という話をしました。集団生活ですから、喜びや楽しさ、悲しさや苦しさや交錯する中で切磋琢磨し、人として一回りも二回りも成長する訳ですが、そこには常に、人との関わりや繋がりがあります。温かい言葉や励ましは、その人に自信と勇気を与えますが、心ない言葉は、その人を深く傷つけます。「あなたの一言が、あの子の明日を変える」を合い言葉に、自分を見つめ直し、友を大切にしながら芳養の良さを受け継いで行ってほしいと思います。

さて、先日こんな話を耳にしました。グーグルの創業者であるラリー・ページさんは、「20年後には、今ある職業の半分は無くなる」とおっしゃったとか。また、米国デューク大学のキャシー・デビットソン教授は、「今の小学生が大学を出る頃には、65%の職業が無くなっているだろう」とおっしゃったと報じられていました。世の中のグローバル化、少子高齢化、高度情報化社会の中で科学がすさまじいスピードで進展し、これまで人がして来た仕事が、機械やコンピュータに取って変わられてしまうのか、とも推測されます。ただ、医師や教師、ガイドなど人を相手に働く仕事は永遠に残るだろうともおっしゃっています。それらを考えた時、これからの社会を形成し、生き活きと生き抜く人間を育成するためには、「人とうまく関わる力」と「物をうまく活用する力」を培うことが不可欠のように思います。

そして、それを育て鍛える場は、子ども社会にあっては、家庭や学校であり、地域社会であると考えます。

芳養小学校の子どもたちは、この2月・3月、各学年の締めくくりとして、様々な場面で頑張るとしています。どうか、地域の皆様方、変わりませず励まし見守って下さいますよう心からお願い申し上げます。

第23回芳養こどもクラブマラソン大会

1月16日(土)に、好天の中、芳養子どもクラブ主催の第23回芳養子どもクラブマラソン大会が、芳養児童センターの周辺をコースにして行われました。低学年(1・2年)は0、5kmに11名、中学年(3・4年)は1kmに9名、高学年(5・6年)は1、5kmに8名と、全員で28名参加し、全員が完走しました。参加した子どもたちは、温かな声援を受けながら一生懸命に持てる力を十分に出し切り、また一つ貴重な体験を重ねたことになるでしょう。

子どもクラブの関係の皆様、お手伝いを下さった芳養走友会の皆様方はじめ、関係の多くの皆様方に深くお礼申し上げます。

この後、1月24日(日)には、芳養公民館駅伝、1月31日(日)には、田辺市子どもクラブ駅伝競争大会が予定されています。冬の寒風の中、この競技を通し心と体を鍛えるとともに、芳養の絆が一層深められることを心より願っています。

大 坊 小 学 校

3学期のスタート 「画竜点睛を欠く」ことがないようがんばろう。

1月8日、3学期の始業式。お正月は1年の始まりですが、学校では3学期。締め括りをする時期になります。始業式には「画竜点睛」の言葉について説明し、最後に加える大事な仕上げをきちんとし、確実にできることを増やしていくよう話しました。

本年度、大坊小学校では、地域学習として「大坊・団栗の木熟みかん」について調べました。その過程について書いた作文が、入賞しましたので、紹介させていただきます。(紙面の都合で途中省略して記載させていただきます。)

<p>やまなみ入賞 語ろう、私達の「大坊みかん」 6年 坂本 晴香 「これから、『語ろう・大坊・団栗』の発表を始めます。礼。」 開校記念行事の学習発表が始まった。学校の講堂は、保護者や地域の方々でほほいっばいだ。やはり緊張する。 昨年までは、学年ごとに別々の発表をしていたが、今年は全校で一つのテーマについて発表することになった。校区の特産物である「大坊みかん」についてだ。 このテーマは、一学期にみんなで話し合っ て決めた。・・・中略・・・ 三年生以上で協力して調べ学習をすることになった。話し合いが終わったところで、先生が黒板に一つの言葉を書いた。 「木成完熟」 初めて見る言葉だ。読み方も分からない。みんな首をかしげている。先生は、 「『きなりかんじゅく』と読みます。実は、大坊みかんの一番の特色を表しているんだけど、どういう意味か分かるかな。」 と言った。でも、だれも答えられず、お家の人にインタビューしてくることが宿題になった。 家に帰ると、みかん畑からもどってきたばかりのおじいちゃんに早速たずねてみた。 「『木成完熟』って何。」 「ああ、温州みかんの実を長い期間、木にらせておくことや。」 おじいちゃんは、汗をふきながら答えてくれた。 「長いってどれくらい。」 「十二月くらいまでや。年こすのもあるな。長いこと枝においておく方が甘くなるし、他の産地より出荷の時期をずらせるから、値段が高くなるんやで。」 それを聞いて、私は「それだったら、みんな『木成完熟』にすればいいのに。」と思った。 おじいちゃんは、さらに「でもな、実を長い間ならせておくと、木は栄養をとられて弱ってしまいやすい。だから、難しいんや。」 とも教えてくれた。「木成完熟」はすぐれた栽培方法だけど、その分リスクがある。知恵や経験が必要なのだ分かった。 しかし、そこから新たな疑問が</p>	<p>生まれた。「いつごろ、だれが『木成完熟』を始めたのか。」ということだ。みかんのことならよく知っているつもりだったが、分からないこと、知りたいことが続いて出てくる。「何とかして解決したい。」という思いがわき上がってきた。 家でもう一度おじいちゃんに疑問をぶつけてみた。 「それは、ようわからんなあ。おじいちゃんより、学校のそばの谷本さんの方がよう知ってるよ。」 と教えてくれた。学校で確かめると、友達からも「谷本さんに聞けばいいらしい。」という情報が出てきた。そこで、谷本さんの所へおじゃますることにした。二人の友達もいっしょだ。 谷本さんは、ごつごつした手を広げながら、熱心に話して下さった。 「三十年ほど前、農協の人が新しいみかんの作り方を教えてくれると言うんで、話を聞きに行った人がおったんや。その人が木成完熟をこの地域に広めたんや。」 谷本さんの言葉を聞いて、「そうだったのか。」と納得した。また、三十年前というのは、私が予想していたのよりも、最近のことだったので驚いた。 数日して、農協の人からもお話を聞くことができた。・・・中略・・・ 九月に入るとさらにくわしい情報を集めるため、運動会で地域の方にアンケートをおこなうことにした。・・・中略・・・ 私たちの発表内容は、みかん作りのプロである地域の方々にとっては、当たり前なことだったかもしれない。でも、よく知っているようで知らなかった「大坊みかん」について、自分たちで疑問を持ち、調べられたことは、価値ある学習だったと思う。 今では、知る人ぞ知る温州みかんのブランドとなった「大坊みかん」だが、約三十年もの間、地域の方々が汗を流しながらこつこつと培ってきたものなのだ。そのすばらしさを多くの人に知ってもらいたいと思う。そのために、このふるさとの宝について、より深く理解し、魅力を語れるようになりたい。</p>
---	---

明 洋 中 学 校

明洋中学校から

三学期が始まり早くも一ヶ月が経過しようとしています。現在、1、2年生は進級にあたり学年のまとめを、3年生は中学校生活のまとめ、そして進路の実現をめざして取組を進めています。

◇田辺・西牟婁中学校駅伝競走大会及び紀南地方中学校新人駅伝競走大会について

12月19日(土)に上富田町市ノ瀬で開催された田辺・西牟婁中学校駅伝競走大会、1月17日(日)に日高川町高津尾で開催された、紀南地方中学校新人駅伝競走大会に駅伝部が出場しました。

「田辺・西牟婁中学校駅伝競走大会」

*駅伝の部

男子 1位 56分17秒(17.06km)
井澗翔太、志波李空、井澗洸太、石井裕真、水井翔哉、松葉俊太

女子 6位 40分11秒(10.1km)
中能梨子、鈴木花菜、坂本 恵、尾形乃綾、吉田理乃

*マラソンの部 3位 林 聖人

「紀南地方中学校新人駅伝競走大会」

男子 1位 41分29秒(13.0km)
石井裕真、松葉俊太、井澗翔太、志波李空、井澗洸太

男子は田辺・西牟婁中学校駅伝競走大会で5連覇、紀南地方中学校新人駅伝競走大会では4連覇を成し遂げました。1、2年のメンバーのため、次年度は全国大会出場を目標に頑張りたいと思います。

◇和歌山県アンサンブルコンテスト出場

12月23日(水)紀南文化会館において開催された、田辺地区アンサンブルコンテストにおいて、本校吹奏楽部の「金管七重奏」、「打楽器三重奏」の組が県アンサンブルコンテスト出場に選出され、1月17日(日)和歌山市民会館で行われた同コンテストに出場し、両組とも「銀賞」を受賞しました。

出場した吹奏楽部の皆さんは日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮した結果だと思っています。

◇明洋中学校の生徒推移について

本校の歴史をたどると、学制改革により昭和22年5月、田辺市内に新制中学校4校(芳養中学校、西部中学校、中部中学校、東部中学校)が創立され、昭和23年に芳養中学校と西部中学校が統合し「西部中学校」となりました。

その後、昭和24年4月に西部中学校に、中部中学校の一部(田辺郵便局前堀丁より西部)を加え、「明洋中学校」が創立されました。創立当時の生徒数は1060人(21学級)が在籍し、その後、第一次ベビーブームの生徒たちが在籍していた昭和37年は1380人がピークとなりました。

昭和59年ごろ、第二次ベビーブームの生徒で少し生徒数は増加したものの、それ以降は少子化の中、生徒数は減るばかりとなりました。

現在、本校の生徒数は341人(各学年4学級、特別支援学級1学級、計13学級)が在籍しています。平成28年度はさらに生徒数が減る予定で、1年生は3学級編制になる予定です。

この生徒数減少傾向は今後もさらに続き、数年後にはすべての学年において3学級編制になる可能性が高くなっています。